

枚方教育

No.1497

2009
12.22

枚方教職員組合
枚方市西禁野一―一三
Tel 八四八―三三〇〇
Fax 八四八―三〇五二



どこまで働くルール(条件)を壊すのか

12月21日、府当局は、府労組連に対して特別休暇と特殊勤務手当の改善を提案しました。今回の提案は、切実な要求である短短については提案せず、これまで労使で積み上げてきた到達点を一方的に反故にし、国基準に合わせるというものです。また、大阪府自らが策定した次世代育成や子育て支援の施策を投げ捨てるばかりか、許し難いのは、母性保護を病気として扱う女性蔑視につながる内容が含まれていることです。

府当局 特別休暇改善の提案

平成21年12月21日

特別休暇の見直しについて

- 1 提案理由 省略
- 2 改正内容
 - (1) 廃止するもの
 - ・父母等の祭日
 - ・ボランティア
 - ・保育(保育所等への送迎)
 - ・家族(乳幼児の予防接種、学校行事参加)
 - ・リフレッシュ(勤続10、20、30年)
 - (2) 付与日数等の内容を見直すもの
 - ・結婚: 連続7日以内(週休日等除く) → 連続5日以内(週休日等含む)
 - ・夏期: 5日以内 → 3日以内(学校7~8月 → 7~9月)
 - (3) 特別休暇としては廃止し、病気休暇として対応するもの
 - ・生理による勤務困難
 - ・妊娠障害(切迫流産等)
 - ・流産
 - ・特別産前産後(産前産後期間を超えて必要な休養)
- 3 施行日 平成22年4月1日

リフレッシュ休暇廃止・夏期休暇3日以内

府当局の見直しの考え方は、特別休暇を母性保護など6分類に分け、それぞれについて①国に制度がないものは原則廃止する。②国を上回る

ものについては、国に合わせてる。③国にあっても民間の実態も考慮して検討するというものです。その結果、父母等祭日やボランティア休暇は、

国に制度があっても民間には浸透していないと廃止を提案しています。



生理休暇・妊娠障害休暇を廃止、病休対応に

今回の提案は、これまで労使協議と合意によって積み上げてきた到達点や大阪府の独自性を否定し、また、母性保護や少子化対策など次世代育成を進めるべき地方自治体の役割を否定するものです。加

職場からの声と府民的運動で提案を跳ね返そう

府労組連・大教組は、個々の特別休暇が導入されてきた経過やその必要性を整理するとともに、教職員用討議資料を作成し、職場討議、職場決議・個人署名など職場からの

えて、妊娠障害や流産などを病休対応とし、昇給など給与抑制に反映させることは、時代に逆行するもので、断じて許されるものではありません。さらに、年末の押し詰まった時期に、特別休暇及び特殊勤

務手当の全般的な見直し提案をし、わずか1カ月足らずの交渉期間とするのは、極めて不誠実な態度といわざるを得ません。(詳細は枚方教組ホームページをご覧ください。)

対する抗議・要請行動を進めます。府労組連・大教組は、不当な提案の撤回をめざし最後まで奮闘します。

主任手当は廃止へ

同時に提案があった「特別勤務手当の見直し」にかかわって府当局は、「主任手当」を廃止するとしています。主任手当の廃止は、そもそも主任制度発足時からの私たちの強い要求でした。府教委は、「各学校によって負担感に大きな差がある」「他の教諭との不均衡が生じている」を廃止理由としています。主任制度の意義を「円滑な学校運営のため」とかかげてきた自らの主張さえ否定するものにほかなりません。

枚方教組結成20周年 記念しセフション

日時 1月16日(土) 13:00~
場所 メセナ枚方 5F・大会議室



「20年のあゆみをふり返り、考え、確かめ合い、新しい枚方教組をつくろう」

第1部 記念しセフション
第2部 交流会 参加費 1000円
※どなたでも参加できます

ぜひご参加下さい。20周年実行委員会